

4 月 巖島神社

4 月の『三春町まちなか寺子屋』は、御祭地区の巖島神社を訪ねます。

この神社の算額は「額」に入ったものではなく、天井板に描かれたものです。明治 18 年に奉納されましたが、ほとんど色褪せることなく、天井全体にはめ込まれた絵や書とともに図のもつ美しさを保っています。特に、2009 年に「発見」された蛇の問題は、海外にも紹介され、高い評価を得ています。

下記の問題は、全 6 題中の 1 題です。(題意) は原文を現代語訳したものです。正確には、甲円に対して乙円を「甲円の直径上に中心を持って互いに外接し、かつ甲円に内接する」ように決めなければなりません。その後で、図のように菱形と丙円を描き入れます。

当日の寺子屋で取り上げる予定です。お楽しみに！

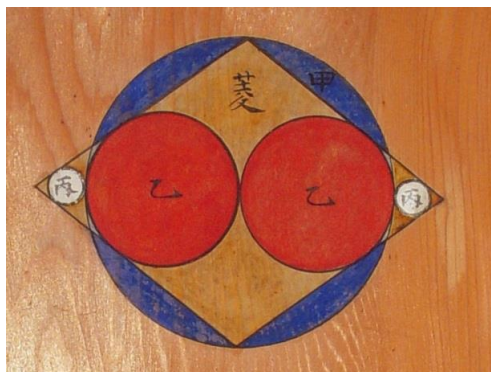
【現存算額：第 1 問】

今有如図甲円与菱重之

其罅容乙丙円

只云乙円径四寸

問丙円径如何



(題意)

今、図のように甲円(青)と菱形を重ねて描き、その隙間に、乙円(赤)と丙円(白)を互いに接するように容れる。

乙円径(直径)を 4 寸とするとき、丙円径(直径)を求めよ。